

第 80 回兵庫県民スポーツ大会・第 75 回奈良県民スポーツ大会

兼 2026 年テクノ 293 クラス兵庫選手権大会

兼 2026 年国スポウインドサーフィン級兵庫選手権大会

SAILING INSTRUCTIONS (帆走指示書)

[NP]の表記は、艇は他艇の規則違反に対し抗議できないことを意味する。これは、RRS60.1 を変更している。

1. 規則

- 1.1 本大会は、『セーリング競技規則 2025-2028』に定義された規則を適用する。
- 1.2 付則 B を適用する。ただし、規則 B4-50、B5、B7、B8 は適用しない。
- 1.3 [SP]の表記は、レース委員会が審問無しに標準ペナルティーを適用することができる規則を意味する。レース委員会は抗議することもでき、その場合は審問を経てプロテスト委員会の裁量でペナルティーが決定される。これは付則 A5 を変更している。
- 1.4 NOR と SI に矛盾が生じた場合は、SI を優先する。

2. 帆走指示書の変更

- 2.1 SI の変更は、それが発効する当日のスタート予定時刻の 60 分前までに掲示される。
- 2.2 海上において変更する場合は、予告信号以前に L 旗を掲揚したシグナルボートから口頭で指示する。

3. コミュニケーション

- 3.1 競技者への通告は、大会本部に設置された公式掲示板に掲示される。

4. 陸上で発せられる信号

- 4.1 陸上で発せられる信号は、大会本部のポールに掲揚される。
- 4.2 AP 旗が陸上で掲揚された場合、レース信号『回答旗』中の「1 分」を 40 分以降と置き換える。
- 4.3 [DP]音響信号 1 声とともに掲揚される D 旗は、「艇の出艇を許可する。予告信号は D 旗掲揚後 40 分以降に発する。ただし予告信号を発する時刻は、SI 5.1 の時刻より早まることはない。艇はこの信号が発せられるまで出艇してはならない。

5. レース日程

5.1 レース日程

日付		時刻
6 月 27 日(土)	登録 (受付)	0920-0940 hrs.

	選手ブリーフィング	0940-0950 hrs.
	最初の予告信号予定時刻	1125 hrs.
	表彰式	別途案内

- 5.2 受付、選手ブリーフィングは、甲子園浜海浜公園 sea you 前にて行う。
- 5.3 予定するレース数は、成年男子、成年女子ともに3レースとする。
- 5.4 レース当日の最終予告のおおよその見込み時間は選手ブリーフィングで連絡する。
- 5.5 1つのレース又は一連のレースが間もなく始まることを注意喚起するために、予告信号を発する少なくとも5分以前に音響信号1声とともにオレンジ色旗を掲揚する。
- 5.6 表彰式は、表彰対象者のみが参加することとし、最終レース終了後に実施する。

6. クラス旗

- 6.1 クラス旗は次のとおりとする。

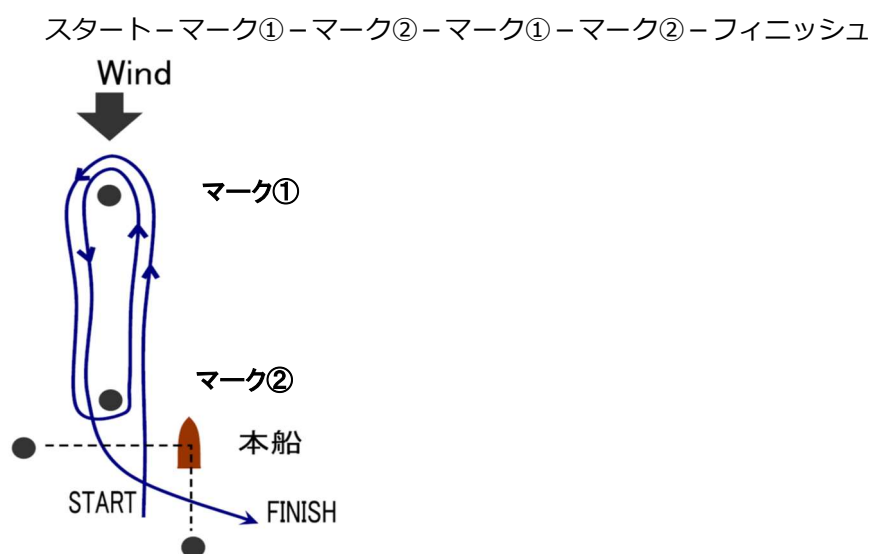
クラス	国スポウインドサーフィン級
旗	国スポウインドサーフィン級旗

7. レース・エリア

- 7.1 【添付図 A】に、レース海面、甲子園浜海浜公園のおおよその場所を示す。

8. コース

- 8.1 ウィンドワード/リーワードコースとし、見取り図は、通過するマークの順序、それぞれのマークをどちら側に見て通過するかを含むコースを示す。



- 8.2 予告信号以前に、シグナルボートに「艇の帆走すべきコース」及び「最初のレグのおおよそのコンパス方位」を掲示する。

9. マーク

9.1 マーク、または関連したゲート・マークは次のとおりとする。

Marks ①,②	Marks Starting Line	Marks Finishing Line
オレンジ色の三角錐	シグナルボート 黄色の円筒形	シグナルボート オレンジ色の円筒形

9.2 マークの数字は無視するものとする。

10. スタート

10.1 スタート・ラインは、スタート・マーク上に「オレンジ色旗」を掲揚しているポールとスタート・マークのコース側との間とする。

10.2 スタート信号後4分以内にスタートしない艇は、審問なしに「スタートしなかった(DNS)」と記録される。これは付則 A5.1 と A5.2 を変更している。

11. コースの次のレグの変更

11.1 スタート後、次のレグの変更は行わない。

12. フィニッシュ

12.1 フィニッシュ・ラインは、フィニッシュ・マーク上に青色旗を掲揚しているポールと、フィニッシュ・マークのコース側との間とする。

13. タイム・リミットとターゲット・タイム

13.1 タイム・リミットとフィニッシュ・ウィンドウ及びターゲット・タイムは次のとおりとする。

クラス	タイム・リミット	マーク1 タイム・リミット	フィニッシュ・ ウィンドウ	ターゲット・ タイム
国スポウインドサ ーフィン級	40分	15分	10分	25分

13.2 タイム・リミット内に1艇もフィニッシュしなかった場合、またマーク1タイム・リミット内に1艇もマーク1を通過しなかった場合、レース委員会はそのレースを中止する。この項は規則 32.1 を変更している。ターゲット・タイムどおりにならなくても救済の根拠とはならない。これは規則 61.1 を変更している。

13.3 フィニッシュ・ウィンドウは、最初の艇がコースを帆走してフィニッシュした後、艇のフィニッシュが認められる時間である。フィニッシュ・ウィンドウ内にフィニッシュできず、かつ、その後リタイアせず、ペナルティを課されず、または救済を与えられなかった艇は、審問無しに『フィニッシュしなかった (DNF)』と記録される。これは、規則 35、付則 A5.1 及び A5.2 を変更している。

14. 抗議と救済要求

14.1 抗議書は大会本部で入手できる。抗議は抗議締切時間内に大会本部に提出しなければならない。

14.2 抗議・救済要求締切時刻は、その日の当該クラスの最終レース終了後、又はレース委員会が本日これ以上レー

スを行わないという信号を発した後、どちらか遅い方から 60 分とする。この時刻は公式掲示板に掲示する。

- 14.3 審問の場所及び時刻、抗議の当事者又は証人として指名された者を競技者に知らせるため、抗議締切時刻後 30 分以内に掲示する。
- 14.4 審問再開の要求は、通告後 20 分以内にプロテスト委員会にその旨を伝え、その後の指示を受けることとする。この項は規則 63.7 を変更している。

15. 得点

- 15.1 大会が成立するためには、1 レースを完了することを必要とする。
- 15.2 艇の得点は、実施されたすべてのレースの得点の合計とし、同時に開催されるすべての大会の参加艇も含めた得点とする。これは規則 A2.1 を変更している。

16. [NP][SP]安全規定

16.1 チェックアウトとチェックイン

- (1) 当日のレースに参加しようとする競技者は、受付を行うこととする。受付をおこなうことによりチェックアウトをおこなったものとする。
- (2) 荒天の場合を除き、チェックインは行わない。荒天時においては、口頭により確認を行う。
- (3) リタイアした艇は、出来るだけ早くレース委員会艇に伝えた後、速やかにコース・エリアから離れなければならない。

- 16.2 レース艇が救助を要請する場合は、レース委員会艇が近づいた際、手のひらを開き、これを振って合図すること。救助を拒否する場合は、握った手を振ってその意思を知らせなければならない。

17. [NP][DP]装備の交換

- 17.1 損傷又は紛失した装備の交換は、レース委員会の承認なしでは許されない。交換の要請は、最初の妥当な機会にレース委員会に行わなければならない。

18. [NP][DP]装備と計測のチェック

- 18.1 艇又は装備は、クラス規則、NOR 及び SI に従っていることを確認するため、いつでも検査されることがある。

19. 運営艇の識別

- 19.1 レース委員会艇の標識は次のとおりとする。

レース委員会艇には、「白地に赤字で RC」と記載した識別旗を掲揚している。

プロテスト委員会艇には、「白地に赤字で J」と記載した識別旗を掲揚している。

- 19.2 紛失等による運営艇の識別旗の非掲揚は、艇からの救済要求の根拠とはならない。これは規則 61.1 を変更している。

20. [NP][DP]支援艇

- 20.1 支援艇は認めない。

21. [NP][DP]ごみの処分

21.1 艇は、ごみを海中に捨ててはならない。ごみはレース委員会艇、プロテスト委員会艇に渡してもよい。

22. 賞

22.1 兵庫県民スポーツ大会、奈良県民スポーツ大会の成年男子 1 位、成年女子 1 位に賞状を授与する。

22.2 テクノ 2 9 3 クラス兵庫選手権の男子 1 位～3 位、女子 1 位～3 位に賞状を授与する。

22.3 国スポウインドサーフィン級兵庫選手権の 1 位に賞状を授与する。

23. リスク・ステートメント

23.1 RRS 3 には『レースに参加するか、またはレースを続けるかについての艇の決定の責任は、その艇にのみある。』とある。大会に参加することによって、それぞれの競技者は、セーリングには内在するリスクがあり、潜在的な危険を伴う行動であることに合意し、認めることになる。これらのリスクには、強風、荒れた海、天候の突然の変化、機器の故障、艇の操船の誤り、他艇の未熟な操船術、バランスの悪い不安定な足場、疲労による傷害のリスクの増大などがある。セーリング・スポーツに固有なのは、溺死、心的外傷、低体温症、その他の原因による一生消えない重篤な傷害、死亡のリスクである。

以 上

【添付図 A】

